



Blue Wave 16号

平成24年7月1日

社団法人 大和青色申告会 青年部通信「ブルーウェーブ」

発行責任者 青年部長 荻内 正典
発行 社団法人 大和青色申告会 青年部

ブルーウェーブ発行日変更のお知らせ

さて、青年部通信 ブルーウェーブにつきまして、当初、第16号は6月1日に発行させていただく予定でしたが、6月21日に、青年部10年に一度の行事として、全青色青年部創立30周年記念式典が開催されました。この一大イベントをいち早く皆様に、お知らせしたく、発行日を7月1日に変更させていただくことに致しました。6月の発行をお待ちいただいていた会員の皆様には、大変ご迷惑をおかけ致しました。何卒ご理解を賜りたくお願い申し上げます。
社団法人 大和青色申告会 青年部長 荻内 正典

お正月も過ぎた1月17日に、青年部の新年会とあわせて大和駅周辺で、確定申告前に大和青色申告会の事を市民の皆様知ってもらうための広報活動を開催しました。広報活動には、大和税務署から中川上席調査官も激励に来てくださり、親会からは堀田副会長・吉野副会長に協力していただきました。冬の寒さの中、部員のみならず、申告会の宣伝の為にポケットティッシュの配布を行い、用意した500個は瞬く間に配り終えてしまいました。すこしでも申告会の事を知ってもらえたら良いと思います。終了後、菊華飯店に移動して、新年会を開催いたしました。来賓として、曾根会長をはじめとして副会長・各委員長に参加していただき、これからの活動内容や、7月開催予定

部長 荻内 正典



広報活動参加者 一同で大和駅前にて

広報活動・新年賀詞交歓会を開催!

の研修会の話などで大いに盛り上がりました。確定申告で忙しくなる前の、ほっとするひと時を楽しく過ごしました。



只今ティッシュ配布中です!



新年賀詞交歓会

平成23年度確定申告期応援活動として例年通り広報車宣伝活動を2月7日大和南方面、2月9日綾瀬方面、2月10日大和北方面、3月7日座間方面、3月8日海老名方面の計5地区を午前10時から午後3時まで回りました。青色申告会のジャンパーを着て、安全運転を心がけ、確定申告書の早期提出と会計ソフトブルーリターンAでの記帳、青色申告会の入会等を宣伝しながら、広報活動を行いました。

会計 吉野 晃弘



広報車で各地区を巡回しました。



確定申告期広報車宣伝活動を実施!

通常総会開催となる。

全議案を承認可決

平成24年5月24日(木)午後6時30分より、海老名プライムタワー2階会議室において、大和税務署並びに親会より曾根会長はじめ多数の来賓ご臨席のもと第18回青年部通常総会を開催した。はじめに司会者 黒沼隆氏より出席者数28名(内委任状提出者19名)は部員総数36名の2分の1以上が出席しており、本総会が成立したことが告げられ、議長には数内正典氏が就任し、議案の審議に入った。まず議事録署名人選出では、下田兼義氏、石村英樹氏を指名。はじめに平成23年度事業報告の承認に関する件及び同収支決算報告の承認に関する件は、監査報告の後一括上程され、両案とも満場一致で承認可決された。次いで、青年部規程一部改正について原案どおり可決成立した。次いで、平成24年度事業計画(案)の承認



第18回通常総会



に関する件及び同収支予算(案)の承認に関する件の両案が一括上程され、いずれも原案どおり可決成立した。以上で全ての議案が終了し、来賓を代表して曾根会長、菊池統括官より祝辞を頂戴した。続いて、来賓の紹介があり、石村英樹氏の閉会の辞をもって総会は閉会した。



来賓を代表して曾根会長より祝辞

全青色総連合青年部創立三十周年記念式典

参加報告

顧問 下田 兼義(神奈川県連青年部長)

6月21日 横浜の山下町にある、メルパルク横浜にて全青色青年部創立30周年の記念式典が開催されました。北は北海道から南は沖縄までまさに全国から200名近い青年部員の方が集まり、盛大に執り行われました。地元神奈川県からも49名の出席があり、多大なご協力に感謝いたします。当日は12時から神奈川県連青年部の通常総会を行い、14時から全青色青年部記念式典への参加という長時間であったため、多少ご負担はありました。その分空き時間に、他会さんとの情報交換や懇親を図れたことと思います。記念式典では第十代全青色青年部長の安田さん(千葉県)の挨拶ののち、青年部活動に貢献された方々に表彰状・感謝状の贈呈を行い、また、部員増強や顕著な活動をされた単位会青年部も合わせて表彰いたしました。来賓には国税庁より個人課税課 江國様、間瀬様、元日経新聞社顧問 梅田様、全青色会長小島様、女性部長 山前様、神奈川県連副会長 名取様、全青色専務理事 山本様がお見えになりました。私は現在神奈川県連青年部長ではありませんが、第八代全青色青年部長として恥ずかきながら来賓席の後列の雑壇に並び式典を拝見させていただきました。隣には第九代部長の高橋さん(茨城県)第五代部長の赤岡さん(東京都)そして初代部長の中原さん(現在、東京



全国青色申告会総連合青年部 創立30周年記念祝賀会

板橋会の会長さんです。)もご列席されました。講演会では日本経済新聞社より橋高様をお招きし「東日本大震災から何を学ぶか?」という演題でご講演をいただきました。震災当時、仙台支局長であった橋高様が体験した出来事から始まり、当時の検証や復興への道のりを具体例を交えながらのお話でした。その中でも印象に残ったのが「なぜ福島原発が被災し女川原発は軽微な損傷で済んだのか?」の話でした。福島原発の設計主体は東京にあり、女川原発は福島県や地元主体で作られたことにその答えがあります。つまり、利便性の良い海岸近くに作った福島原発に

対し、女川原発は危険性を考え高台に設置することを強く要望しその意見が反映された結果といえます。その他の話として現在の東北の復興状況は特需により求人やビジネス系のホテルは盛況である反面、観光関係や街の再生はまだまだ時間がかかりそうとのことでした。記念講演の第二部として青年部設立にかかわった、全青色専務理事の山本様、初代青年部長の中原様、全青色会長の小島様により、当時の様子を振り返っての思い出話や、これからの青年部に期待する旨のお話をいただきました。創部当初は税務の問題点や政治について語り合い、親会と変わらぬ、骨太な活動をされていたようです。講演会も当時の長官クラスの方や党総務会長など 国政の重職の方も見えになっていました。中々本田宗一郎氏による講演は聞いてみたかったです。我々現役世代が30年後の青年部員さんたちに何を残せるのか?胸を張って思い出話ができるような青年部活動をしていかなければならないと改めて思いました。記念講演後は全青色青年部通常代議員総会を行いました。時間のなか、集中してご審議いただき、すべて原案通り承認可決されました。この後は約20名からなる皆さんと盛大に懇親会が開かれ、あちこちのテーブルを回り全国の部員さんと親睦を深めました。毎年の総会でお会いする方も多く、顔なじみの皆さんとの再会でもあります。この時に各地の青会の様子を報告し合います。それにしてもなにかと厳しい地方の皆さんがとも明るく元気に感じられるのは気のせいでしょうか?都市部の人間のほうが精神的に疲弊しているように思えるのは生活の充足感・幸福度の違いがあるからでしょうか? 多くの人とふれあい、何かを感じるのは本当に面白いものです。これからも青色申告会を通して、様々な勉強をさせていただきます。そしてその良さも広めていきたい

青年部の行事に参加してみませんか?

- ☆入部資格... 社団法人 大和青色申告会の正会員・準会員およびその専従者・家族従業員
- ☆青年部会費... 無料
- ※参加(入部)希望者は、事務局の渡辺までご連絡をお願いします。



青年部(平成24年度)これからの行事予定

日時	内容	場所
7月12日	第1回研修会	川崎大師、NHK スタジオパーク、東京タワー
10月11日	街頭献血の呼掛け	大和駅北側交番前
11月	第2回研修会	
12月	忘年会	
1月	新年賀詞交歓会	
2月~3月	確定申告期応援活動	
3月	確定申告期反省会	

